

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年7月5日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	掛川市役所	代表者名	市長 久保田 崇
担当者部署	企画政策部	連絡先電話番号	0537-21-1208
担当者役職	係長	担当者氏名	戸塚 芳之
住所	436-8650 静岡県掛川市長谷1丁目1番地の1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉本 明平
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	市長や部課長に対して、自治体のDXを進めていく必要がある背景や職員の意識改革が重要であることを、わかりやすい例を挙ながら説明いただいた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月1日	10時00分	11時00分		60
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市長・副市長・幹部職員	80人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	DX推進に向け、部課長のDXに対する理解を深める必要がある。また、職員全体の意識改革を進めていくうえで、部課長からの積極的な協力を得る必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	各部課長を中心に各部署が、DX推進のために自分たちにできることを自ら考え意見を出すことができる環境。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	2040構想の話から、自治体のサービスを維持するためにDXが欠かせないということや、デジタル化よりもトランスフォーメーション(変革)が重要ということを説明いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	「DX=デジタル化をする」という考え方から、自治体の在り方が変わっていく(トランスフォーメーションする)ことが重要という考え方にシフトすることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	部課長以下の職員に向けて、本日の内容を共有することができていないので、資料や動画を共有する。また、座学だけでなく、ワークショップ等を開催して、意識改革を進めていく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演後に庁内のDX推進本部会議を開催し、意見交換の時間を十分に確保できたため、アンケートは実施しなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	「情報システムの標準化・共通化」及び「行政手続のオンライン化」の実施。 デジタル社会に向けた意識を持った職員による全庁的なDX推進。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

